

プラチナスKシリーズ

Q:P計装の停電復帰動作設定を教えてください。

【型式】PR-1KP, PR-2KP, PR-3KP, PR-4KP, PL-1KP, PL-2KP, PL-3KP, PL-4KP, PU-1KP, PU-2KP, PU-3KP, PU-4KP, PSL-2KP, PSL-4KP, PG-2KP, PG-4KP, PDR-3KP, PDR-4KP, PDL-3KP, PDL-4KP, PCR-3KP, PWL-2KP, PWL-3KP, PWL-4KP, PWU-2KP, PWU-3KP, PWU-4KP

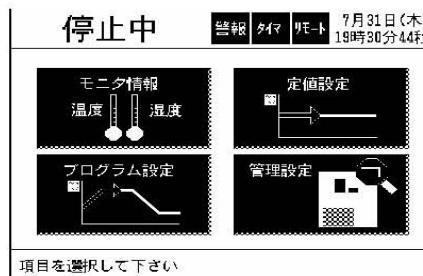
A: 次の通りです。下記はユーザーズマニュアルの抜粋です。

5.11 環境設定

メンテナンス項目を選択する

1. メニューが表示されている状態で管理設定モードにします。

管理設定 キーを押してください。



2. 管理設定選択画面から**メンテナンス設定**キーを選択します。



3. ユーザーパスワードを入力します。
文字入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。
パスワードが設定されていないときは、手順4に移ります。



4. メンテナンス設定選択画面になります。環境設定を行ってください。



【メンテナンス項目】

- 1.通信環境設定
- 2.復帰処理設定
- 3.設定到達判定条件設定
- 4.アナログ出力設定
- 5.タイムシグナル名称登録
- 6.日付・スクリーン調整
- 7.ユーザーパスワード登録
- 8.オフセット調整
- 9.装置詳細設定

復帰処理設定をする

⚠ 注意

- (PL、PDL、PCR、PWLタイプのみ)一次側電源に電圧降下や瞬時停電が発生した場合、その要因(例えば、装置と容量の大きい製品を同じ電源ラインに設置し、その製品が起動するときに電圧降下が発生します。)がないか確認してください。装置と容量の大きい製品は別の電源ラインを使用するなど対処してください。

温度調節器とインバータの検出精度の違いでインバータのみが一次電源に電圧降下や瞬時停電などの問題を検出する場合があります。この状態になると、冷凍機が停止するため蒸発器入口温度が上昇し、「冷凍機回路温度範囲外」異常(基本操作編第8章警報一覧参照)が発生して装置の制御が停止します。これは冷凍機保護のための処理であり、回避することができません。

装置運転中に停電した後の復帰処理モード、警報発生時のバックアップ運転モード、運転中に扉を開けた際の一時停止動作モードと扉警告待ち時間を設定します。

1. メンテナンス設定選択画面から **2** キー（復帰処理設定）を選択します。



2. 停電が発生したときの復帰動作を設定します。

運転継続：停電発生前の運転状態が継続されます。

電源(切)：停電発生前の運転状態に関係なく、電源を遮断します。

3. バックアップ運転モードを設定します。

バックアップ運転モードとは、異常が発生したときにそれまでの運転状態をなるべく維持する処理を行うものです。

4. 扉を開けた場合の一時停止動作を設定します。

する：運転中に扉を開けると、一時停止します。

しない：状態に関係なく運転を継続します。

5. 扉を開けてから警告を出すまでの時間(扉警告待ち時間)を設定します。

○が黄色(有効選択)：扉を開けてから警告を出すまでの時間を有効にする。

○が黒色(無効選択)：「本体扉開放」警報の機能を無効にする。
(「本体扉開放」警報は作動せず、アラームは鳴りません。)

有効に設定した場合は、運転中に扉を開けたときに警告を出すまでの時間を設定してください。